

QuattroPod タッチバックコントロール 設定ガイド



2021年10月 アミュレット株式会社作成

はじめに

QuattroPodには、画面ミラーリング（投影）する際にタッチパネル対応のディスプレイを使用することで、ディスプレイ側から端末を操作することができる機能（タッチバックコントロール機能）が搭載されています。

本書では**QuattroPodとタッチパネル対応のディスプレイを接続し、ディスプレイ側から端末を操作するための手順**について記載します。



用意するもの

タッチバックコントロールを実行するには、以下の3点が必要となります。

- ① **QuattroPod 送信機・受信機**
- ② **USB Type-A（オス-オス）ケーブル**
- ③ **タッチパネル対応ディスプレイ**

2021年10月現在、弊社で動作確認が取れており、なおかつ日本国内で販売されているタッチパネル対応ディスプレイは以下の2種類です。

ViewSonic TD1655

QuattroPod タッチバックコントロール対応OS：
Windows、MacOS、Linux

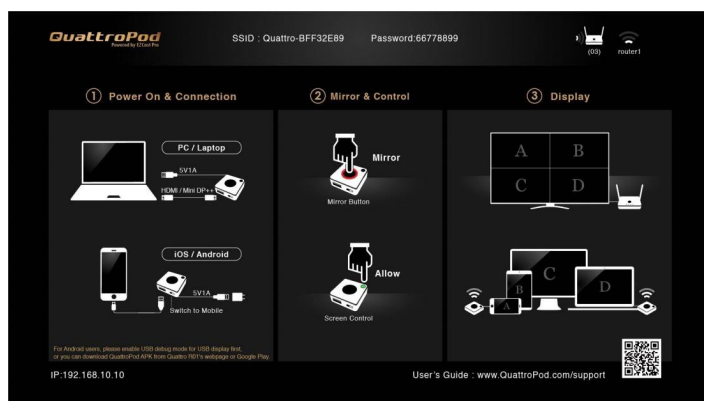
ViewSonic TD2423

QuattroPod タッチバックコントロール対応OS：
Windows、Linux、MacOS（HDMI・MiniDPのみ）

※MacOSは、HDMIポート・MiniDPポート付きの機種であれば、Standard 送信機・Mini 送信機でタッチバックコントロールの動作確認が取れております。

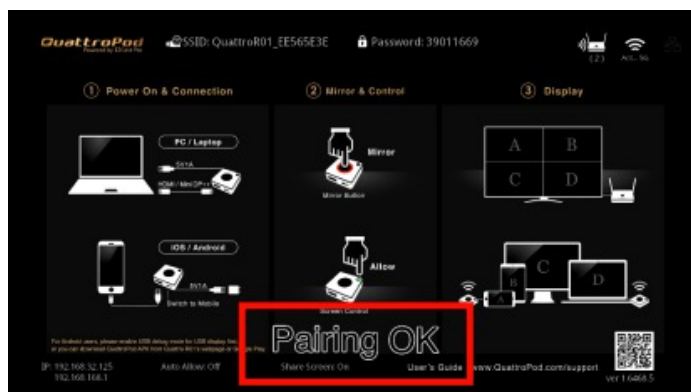
(1) 受信機と送信機をペアリング

受信機とディスプレイをHDMIケーブル等で接続し、電源を入れてください。ディスプレイに下記の図のような画面が表示されます。



送信機のUSB Type-A の端子を、受信機のUSBポートに接続してペアリングを行います。

受信機に接続したディスプレイに白枠文字で「Pairing....」の文字が点灯します。しばらくして「Pairing OK」の文字が表示されたら、ペアリング完了です。

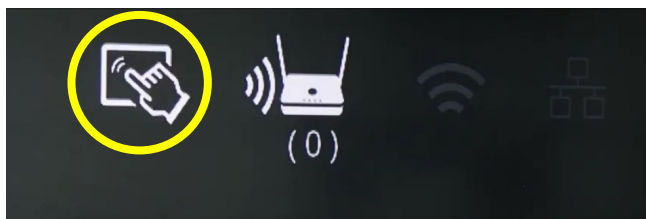
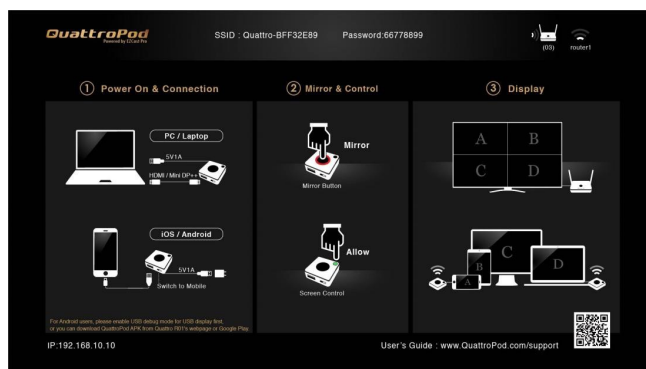


(2) 受信機とディスプレイを接続

タッチパネルディスプレイと受信機をHDMIケーブルとUSBケーブルの2つで接続します。



ディスプレイの画面右上に人差し指のアイコンが表示されているのを確認してください。



(3) 送信機を端末に接続

パソコンと送信機を接続します。

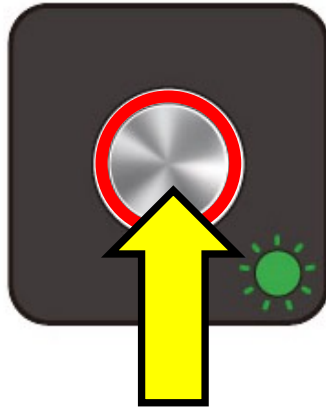
Standard 送信機と Mini送信機は側面の切替スイッチが「PC/Pairing」または「PC」になっていることを確認してください。

USB送信機は、接続ポートとダイヤルを合わせて下さい。

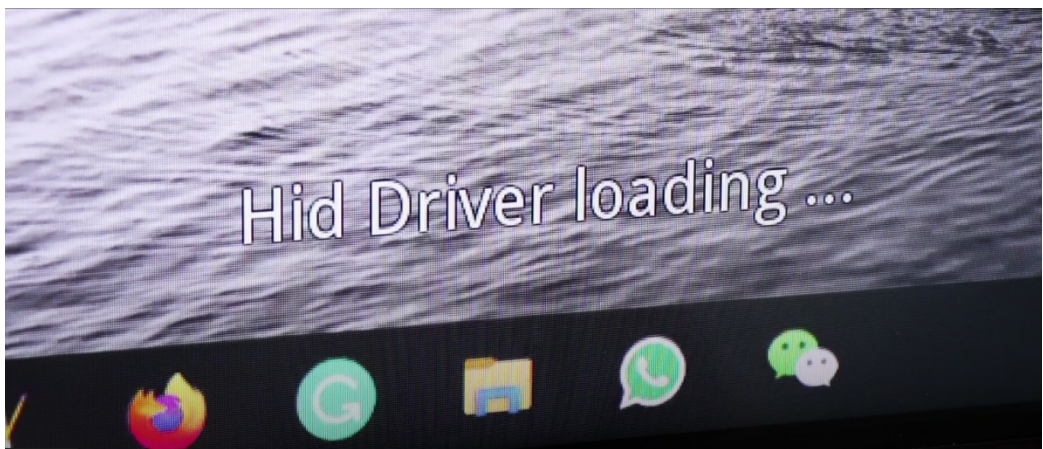


(4) 送信機をクリック

送信機が映像信号を受信したら、中央のボタンを押してください。USB送信機はダイヤルを合わせて下さい。

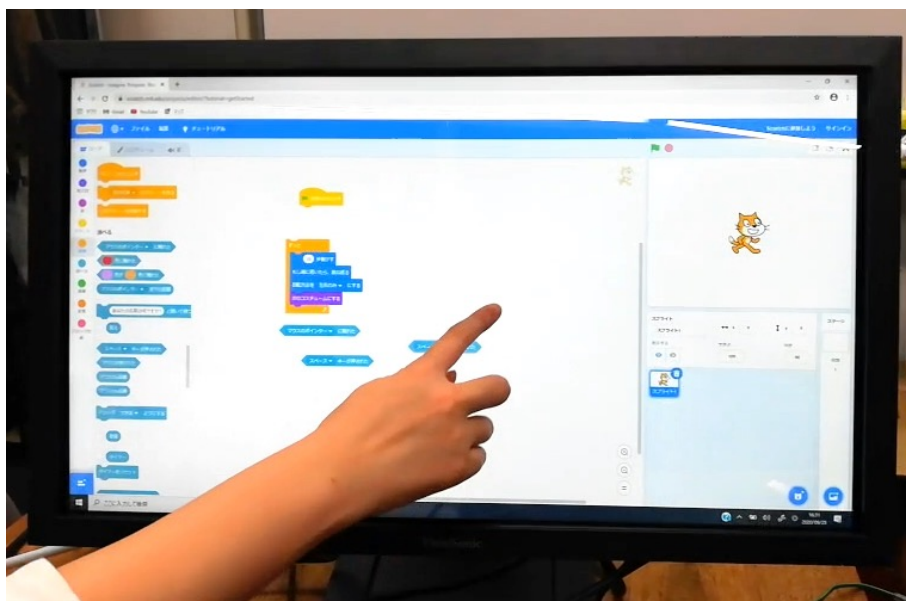
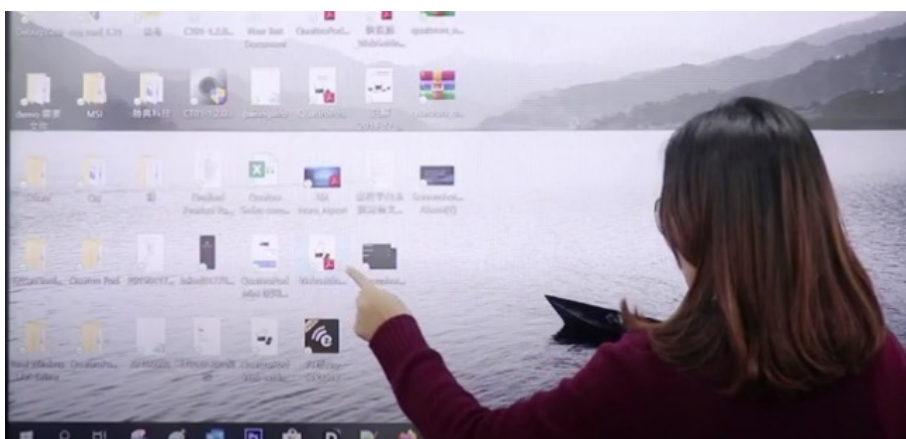


端末の画面がディスプレイにミラーリングされ、ディスプレイ下部に「**Hid Driver loading...**」の文字が表示されているときは、ドライバを読み込み中です。この表示が消えるまでそのままお待ち下さい。



(5) タッチバックコントロール

ドライバの読み込みが完了すると、タッチバックコントロールが使用可能になります。



(6) Q & A

タッチバックコントロール機能に関してお客様から頂いた質問とその回答をまとめました。

■端末にHDMI出力端子がなく、DVI出力端子にDVI-HDMI変換コネクタ経由で送信機に接続する場合もタッチバックコントロールは有効になるのでしょうか？

ディスプレイ側のタッチパネル機能がUSB経由であること、QuattroPodを介在せずに、DVI-HDMI変換コネクタを使ってタッチパネルが有効であること、以上2点の確認が取れましたら、動作する可能性があります。

ただ、全てのタッチパネル対応モニターとDVI-HDMI変換コネクタで動作確認は取れておりませんので、実際に検証していただくことを推奨いたします。